

# 令和元年度教育研究活動報告書

氏名	信木 伸一	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（教育学）広島大学	職位	教授
専門分野	国語教育学		

## I 教育活動

本年度担当科目	
	授業科目
学部	国語教育学専門演習 a、国語教育学専門演習 b、卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）、国語科教育法Ⅰ、国語科教育法Ⅱ、教育原理、教育の方法と技術、教職実践演習、教育臨床実習、文章表現法入門
大学院	国語教育学特論

## II 研究活動

現在の研究テーマ（3つまで）

- （1）近代言語文化教育史
- （2）「古典教育」論
- （3）読みの学習理論

本年度を含む過去3年間の研究業績 R1・H30・H29

R1 <論文> 「新保磐次『中學國文讀本』における「普通文」その2 — 編者作成教材における文体的試みと三土忠造『中學國語讀本』への改変 —」（『国語教育研究 第六一号』広島大学国語教育会 2020.3）単著  
 <論文> 「主体的な学習活動でめざす学び」（『教職支援センター紀要第1号』尾道市立大学 2020.3）単著  
 <著書> 全国大学国語教育学会『新たな時代の学びを創る 中学校・高等学校国語科教育研究』（東洋館出版 2019.9）共著

H30 <学会発表> 新保磐次『中學國文讀本』（明二八）における「普通文」（全国大学国語教育学会『国語科教育研究 第135回東京ウォーターフロント大会研究発表要旨集』2018.10）単著  
 <論文> 新保磐次『中學國文讀本』における「普通文」— 教材「藤樹先生」の典拠からの文体的変容 —（『国語教育研究第六〇号』広島大学国語教育会 2019.3）単著  
 <著書> 翻刻『本朝文範』（学長裁量教育研究費 はと印刷 2019.3）単著

H29 <著書> 『明治初期和文教科書の生成 — 『本朝文範』における「普通文」への歩み —』（溪水社 2017.12）単著

H28以前の主な研究業績

- （1）<論文> 明治初期教科書『本朝文範』における「普通文」への歩み — “旨趣の標、の近世古典注釈からの継承と近代教科書としての加工” —（『日本教科教育学会誌 第39巻2号』日本教科教育学会 2016.9）単著 査読付き
- （2）<論文> 明治初期和文教科書の生成 — 『本朝文範』を中心に —（博士学位論文、2016.9広島大学）単著 査読付き
- （3）<論文> 明治教科書『本朝文範』の生成 — 近世からの脈略と明治教科書としての創出 —（『国語科教育 第七十八集』全国大学国語教育学会 2015.9）単著 査読付き
- （4）<論文> 古典学習における主題単元のテーマの設定 — 「学習者にとっての問題調査」から —（『教育学研究紀要 第60巻』中国四国教育学会 2015.3）共著
- （5）<研究報告書> 2012～2014年度科学研究費補助金基盤研究（C） 小・中・高一貫の「伝統的な言語文化」の教育カリキュラムに基づく授業創造に関する研究（渡邊春美、信木伸一、武久康高、富安慎吾 2015.3）共著

学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績） H29・H30・R1

所属学会・所属団体 役職等と任期

国大学国語教育学会、日本文学協会、日本教科教育学会、広島大学国語教育会（理事）、尾道大学日本文学会（会長）

## IV 社会活動

講演会	尾道市立栗原中学校校内研修会講演 尾道市立栗原中学校公開研究会講演	2回
-----	--------------------------------------	----

## 2. 委員会及び協議会委員（本年度1年間の活動状況）

	委員会等の名称	委員長・委員等の別	出席回数（回）
（1）尾道市関係	尾道市教科用図書選定委員会	委員長	6回
	尾道市立栗原中学校学校関係者評価委員会	委員	2回
	尾道市個人情報保護審議会	委員長	1回
	尾道市情報公開審議会	委員長	1回
	尾道市立図書館指定管理者選定委員会	委員	1回
	尾道市立図書館協議会	委員	1回